

中崎分署棟の移転に向けた取組について

消防署中崎分署棟につきましては、市役所新庁舎整備に合わせ移転に向けた取組を進めており、今年度中の実施設計完了に取り組んでいるところです。

つきましては、基本設計（概要版）に関して実施したパブリックコメントの状況、実施設計の進捗状況及び今後の取組につきまして報告いたします。

1 基本設計（概要版）に対するパブリックコメントの実施について

基本設計（概要版）につきまして、令和6年3月の総務常任委員会で報告を行ったのち、以下のとおりパブリックコメントを実施いたしました。

- (1) 実施期間：2024年4月8日（月）～2024年5月7日（火）
- (2) 募集結果：12名の方から63件のご意見を頂きました。
- (3) 主なご意見

主なご意見	意見に対する市の考え方
① 建設整備の方針について 建て替えではなく、現分署を耐震化とリニューアルの工事によって30年程度延命化するという選択肢があったと思うが。	現中崎分署は新中崎分署建設予定地よりも海拔が低く津波への警戒や液状化の恐れがあります。また、令和元年12月に実施された市役所新庁舎建設基本計画（素案）に対する意見公募の中で、「中崎分署を建て替えるのであれば、国道28号に直接及び水平に面した敷地でなければならない（現分庁舎の北側が最適である）」との意見もありました。市として検討の上、移転に向けた取組を進めております。
② 設計方針について 現中崎分署棟よりもコンパクトでスリムな庁舎として整備するとなっているが、業務への負担や支障はないのか。建設費は削られていないのか。職員の意見は取り上げているのか。	分署規模につきましては、現中崎分署の組織体制を縮小することなく、現在実施している災害対応を継続できるものとしております。 設備等につきましては、他市の施設を参考にしながら実働する職員の意見を聴取し検討しております。
③ 平面・立面計画について ・3階建てから4階建てに変更されているが。 ・火の見台（塔）、避雷針は設置するのか。	1階駐車庫の階高を有効活用し、一部に階層（仮眠室）を設けることで4階建てとなっていますが、建物の高さは変更ありません。 火の見台（塔）の設置予定はありません。避雷針は実施設計において検討してまいります。
④ 緑化計画について 緑地を削って分署を建設するので、せめて県東外港などで樹木を含む緑地を確保して欲しい。	分署の建設により減少する緑地については、明石港東外港地区との一体的な土地利用を検討する中で、兵庫県とも協議しながら引き続き緑地の確保について検討してまいります。建設予定地にある樹木につきましては、枯れが著しい樹木や移植しても活着の可能性が低い樹木などを除き、中崎遊園地内に移植する予定です。

2 実施設計の進捗状況

昨年度完了した基本設計の内容をベースに、基本設計で頂いたパブリックコメントのご意見を踏まえながら、実施設計に取り組んでいます。

(1) 実施設計のポイント（基本設計からの主な変更点）

① 設計の方針

- ・太陽光発電設備を増設（10kW→20kW）
- ・ZEB Ready から Nearly ZEB 認証取得を目指す

② 各種計画

- ・敷地南西端に設置予定のホースリフターを建物西側壁面に設置
- ・多様な訓練が実施できるよう、建物西側や屋上部分などにリングアンカーを設置
- ・各室のレイアウトや間仕切りなどを一部変更
- ・敷地東端の緑化計画を一部見直し、駐輪場のレイアウトを変更

(2) 実施設計（中間報告）の内容

別紙「新中崎分署建設設計業務 実施設計 中間報告」のとおり

3 今後の取組予定について

(1) 今年度の取組予定について

- ① 設計の詳細部分の検討を進めるとともに、公的開発事業協議申請・計画通知申請などの建設工事に必要な各種申請手続きを行い、今年度の実施設計完了を目指します。
- ② 建設予定地の先行整備工事としまして、予定地内の強震観測施設を二見分署敷地内へ移設いたします。

また、一部の樹木（記念樹及び松）につきまして、移植後の活着が見込まれる樹木を予定地周辺の中崎遊園地内に移植を予定しております。なお、先行整備工事にあわせ、建設予定地の周囲にバリケードを設置する予定としております。

(2) 来年度以降の取組について

来年度以降につきましては、施工者の選定や建設工事などの取組を進め、2027年度（令和9年度）中の供用開始を目指してまいります。

新中崎分署建設設計業務 実施設計 中間報告

【1】建設整備の方針

現中崎分署において耐震性能の不足や老朽化が進行していることなどを踏まえ、災害活動拠点として高い耐震性能を有しながら、環境にやさしく、経済的で機能性に優れた庁舎を整備します。
また、災害事案や救急事案において安全・確実・迅速に活動が行えるよう、消防機能を重視するとともに、日頃の訓練活動の様子が風景の一部に溶け込むことで、市民に安心感を与えられるような庁舎を目指します。

【2】財源検討

本物件は耐震化に伴う移転により国の財政措置である「緊急防災・減災事業債（充当率100%、交付税算入率70%）」の対象となります。

【3】事業スケジュール



【4】設計の方針

(1) 現中崎分署棟の課題	(2) 整備方針	(3) 設計の基本的な考え方
①耐震性能の不足 ②老朽化の進行 ③津波等の浸水による影響	ア 災害に強い庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性能は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」に基づき、最高水準（構造体：I類、建築設備：甲類）の安全性を確保する計画 防水板、適切な室配置による浸水対策 自家発電機の導入
④バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応不足 ⑤資機材等の収納不足 ⑥資機材等の充電スペースの未設置	イ 機能性に優れた経済的な庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 出勤時間の短縮を最優先とした配置計画及び動線計画 屋外階段や、壁の一部を訓練施設として利用するなど、屋外空間を最大限に利用した訓練スペースの計画 バリアフリー・ユニバーサルデザインを導入し、エレベーターや多機能トイレを計画 車庫内の収納や資機材庫、倉庫の確保 資機材等の充電スペースの設置 室の用途を兼ねるなど、工夫を凝らすことで必要最小限の床面積とし、建設コストを低減 適切な機能選定によりライフサイクルコストを低減
⑦維持管理コストの増大	ウ 環境にやさしい庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギーに配慮した計画 日照時間が長い地域特性を活かした太陽光発電システムの導入 緑化計画、色彩計画、木質化などの環境・景観への配慮



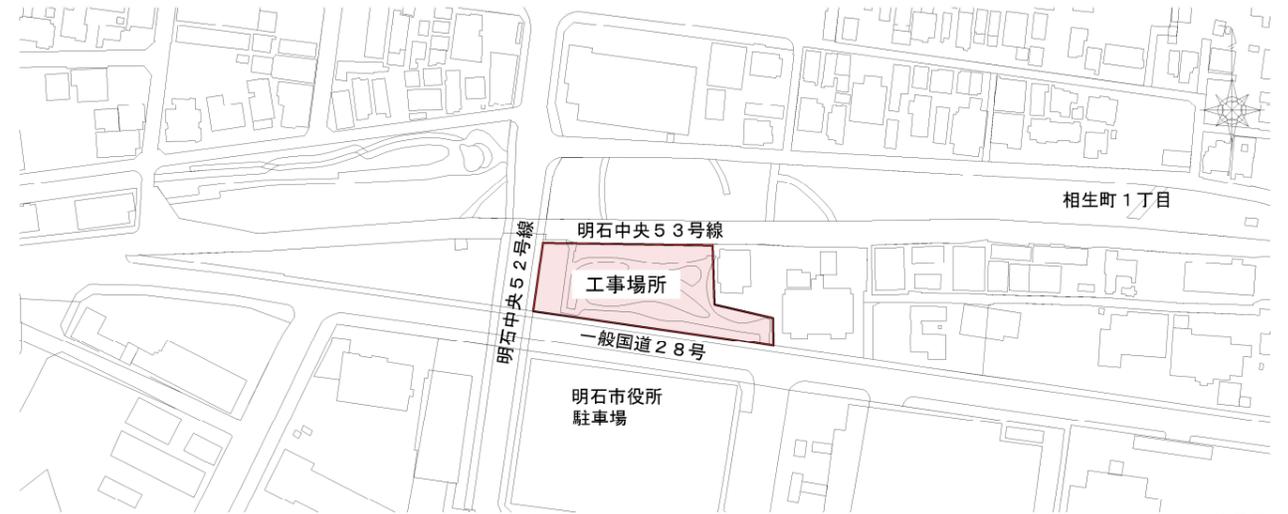
外観イメージ 南東



外観イメージ 南西



外観イメージ 北西



位置図

【5】基本設計概要

(1) 敷地概要

所在地(地名地番)	明石市相生町1丁目93番6
面積	1993.31 m ²
用途地域	近隣商業地域
防火地域	準防火地域
建ぺい率	80 %
容積率	300 %
その他	埋蔵文化財包蔵地等

(2) 建築概要(2024年7月時点)

施設名称	新中崎分署
規模・構造	地上4階建て・RC造
建築面積	約 857.53 m ²
延べ面積	約 1,975.52 m ²
最高高さ	約 17.07 m
概算工事費	約 16.5 億円

【6】構成イメージ

(1)フロア構成イメージ

- ・ 出動時間を短縮するため、建物中央に消防専用の階段を計画します。
- ・ 市民が安全に来庁できるように、各階のホールと階段等の共用部を東側にまとめ、来庁者動線と出動動線が交錯しない計画とします。

4階平面イメージ



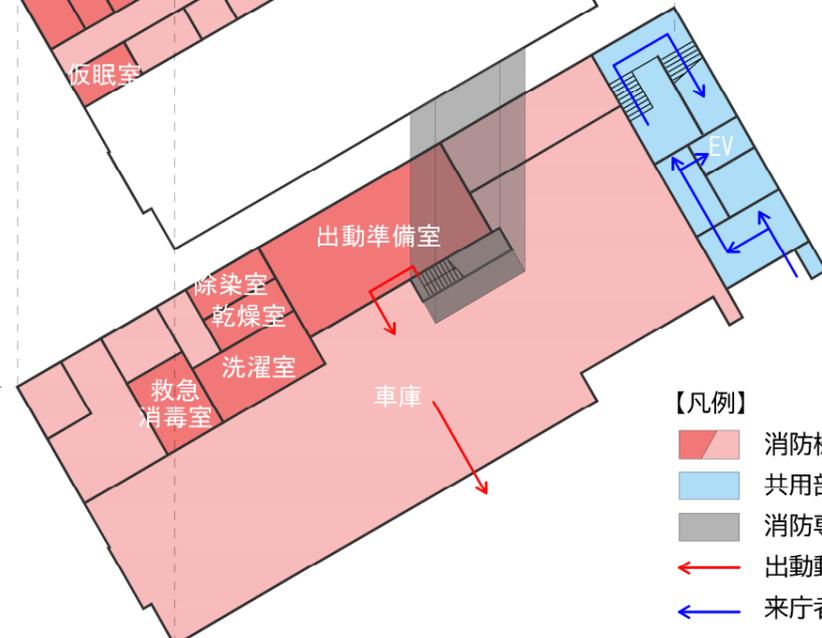
3階平面イメージ



2階平面イメージ



1階平面イメージ



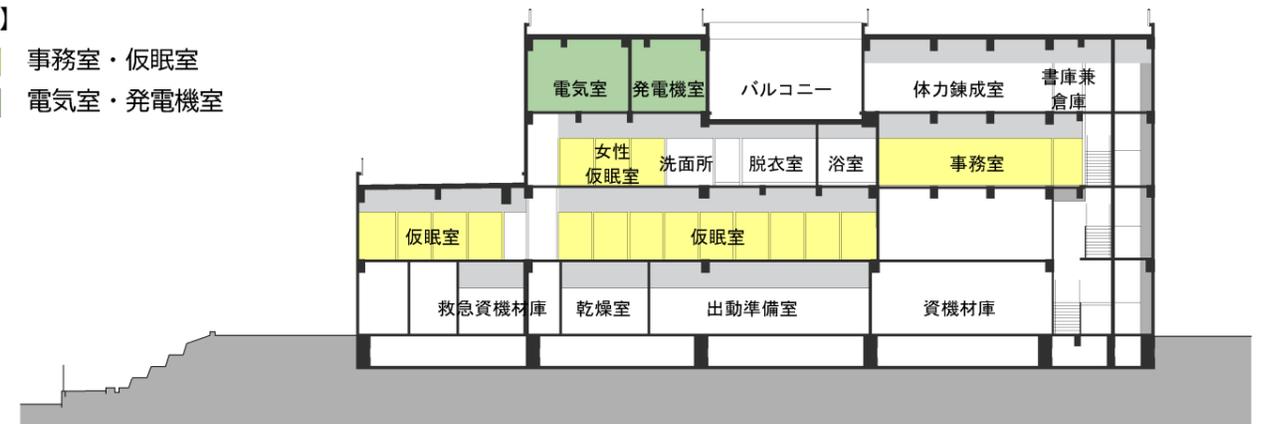
- 【凡例】
- 消防機能
 - 共用部
 - 消防専用階段
 - 出動動線
 - 来庁者動線

(2)階構成イメージ

- ・ 常時職員が勤務している事務室と、夜間出動に対応するための仮眠室を低層階に配置し、出動時間を短縮します。
- ・ 電気室、発電機室は、浸水の危険性がない高層階(4階)に配置します。

【凡例】

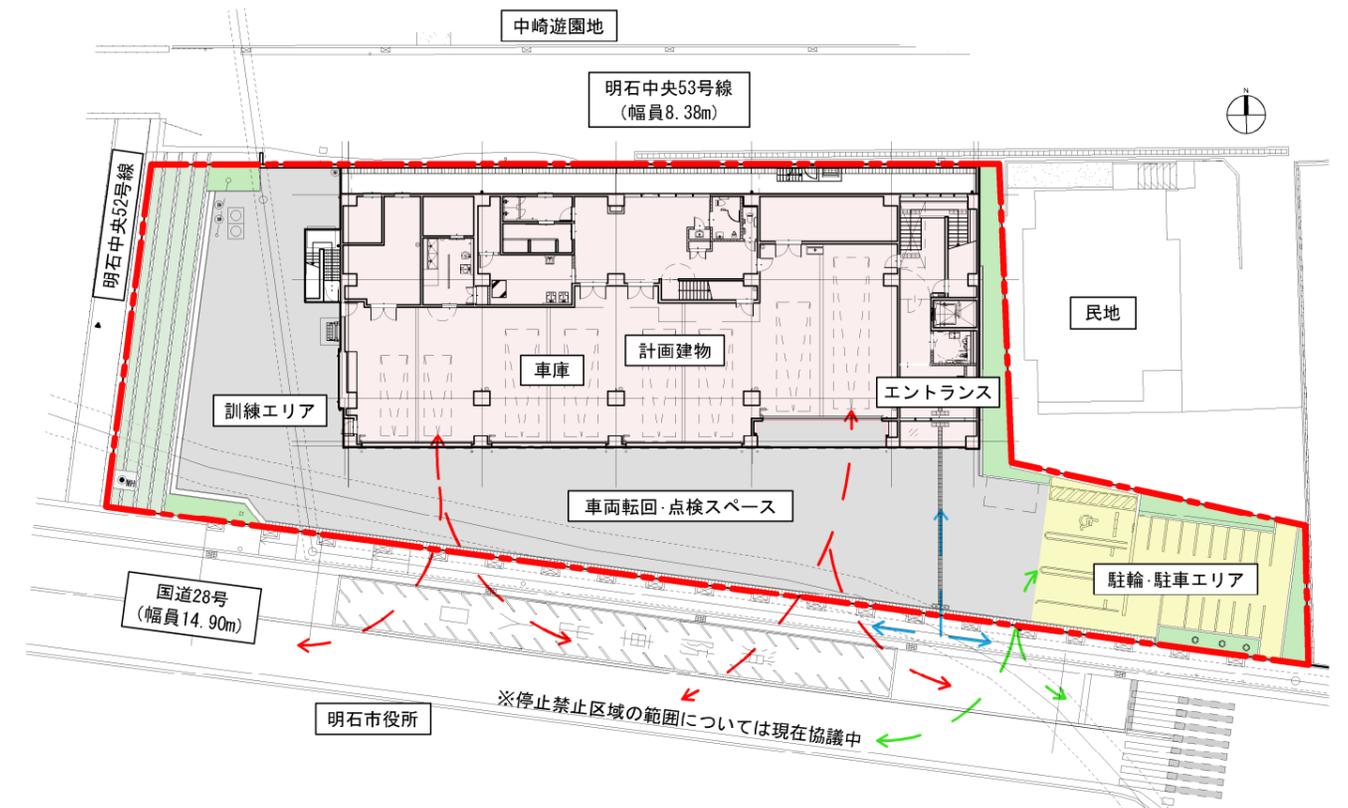
- 事務室・仮眠室
- 電気室・発電機室

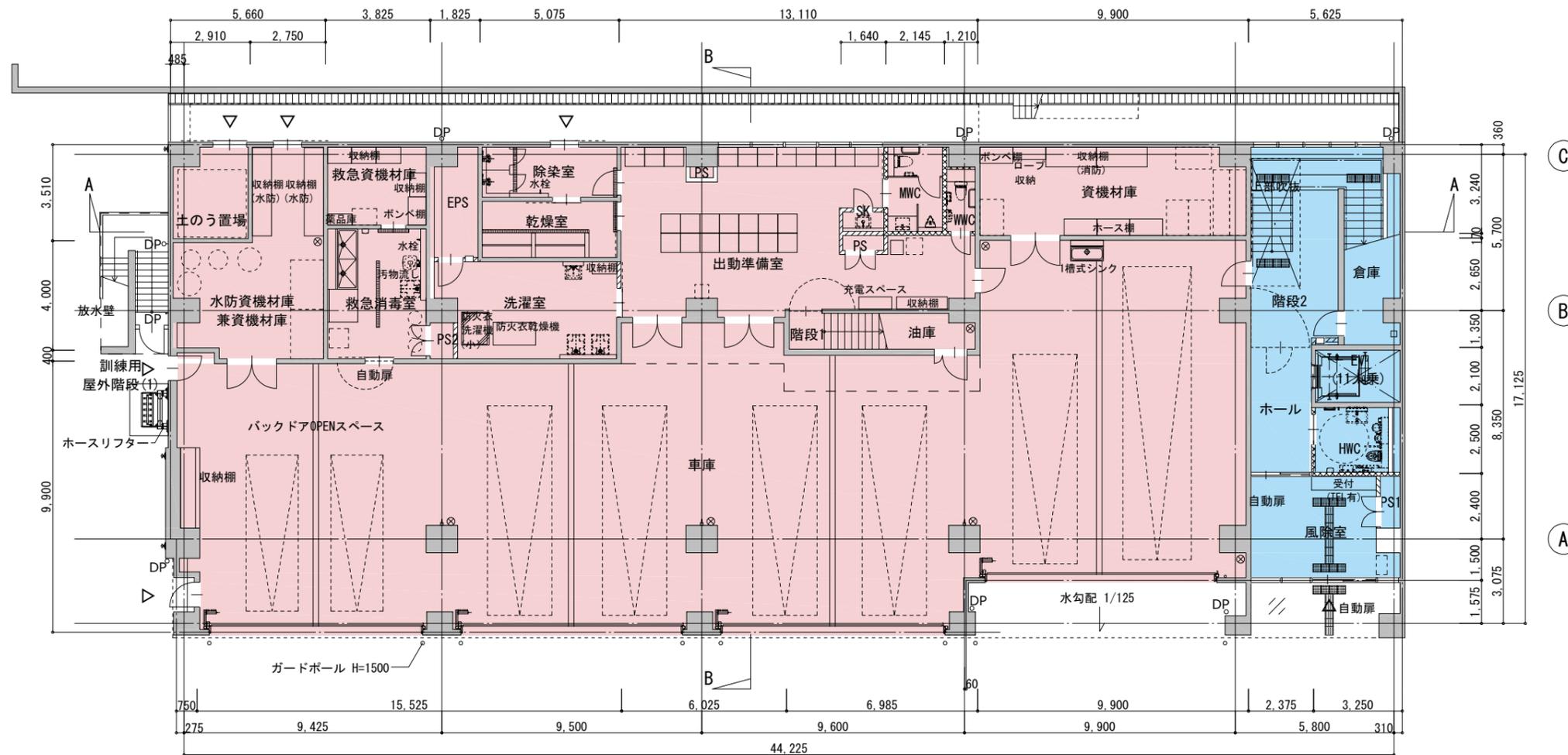


【7】配置計画

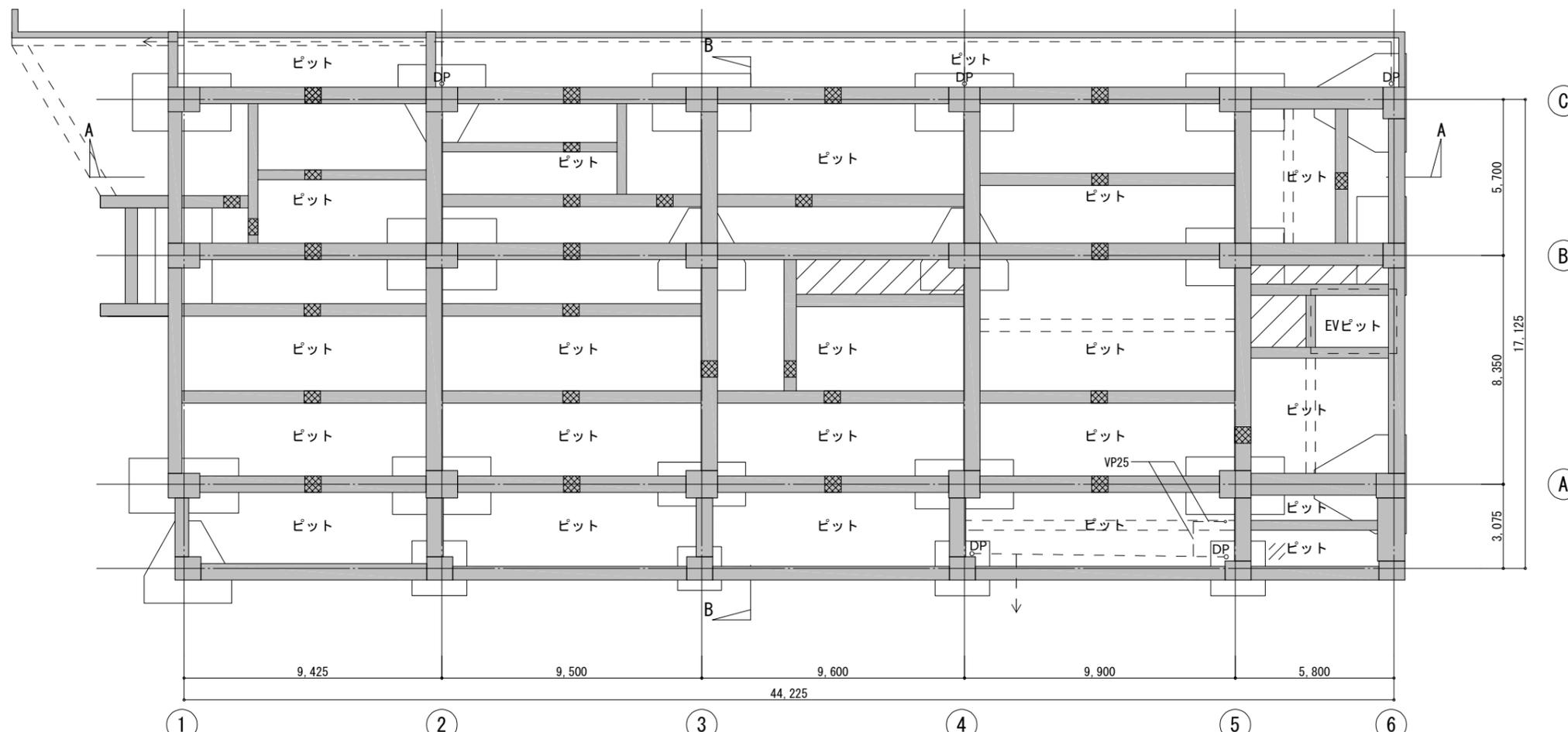
- ・ 敷地内の埋設配管を避け、建物を北東に寄せた配置とします。
- ・ 消防車両を迅速に出動させるため、車庫を幹線道路に面した南面に配置します。
- ・ 建物を北側市道と平行に配置し、敷地南側に消防車両の転回・点検スペースを確保します。
- ・ 敷地東側は住宅と近接していることから、駐車・駐輪エリアとします。

- 【凡例】
- 消防車両動線
 - 来庁者動線
 - 来庁者車両動線
 - 計画建物
 - エントランス
 - 訓練・車両回転エリア
 - 駐輪・駐車エリア
 - 緑地
 - 公共下水道



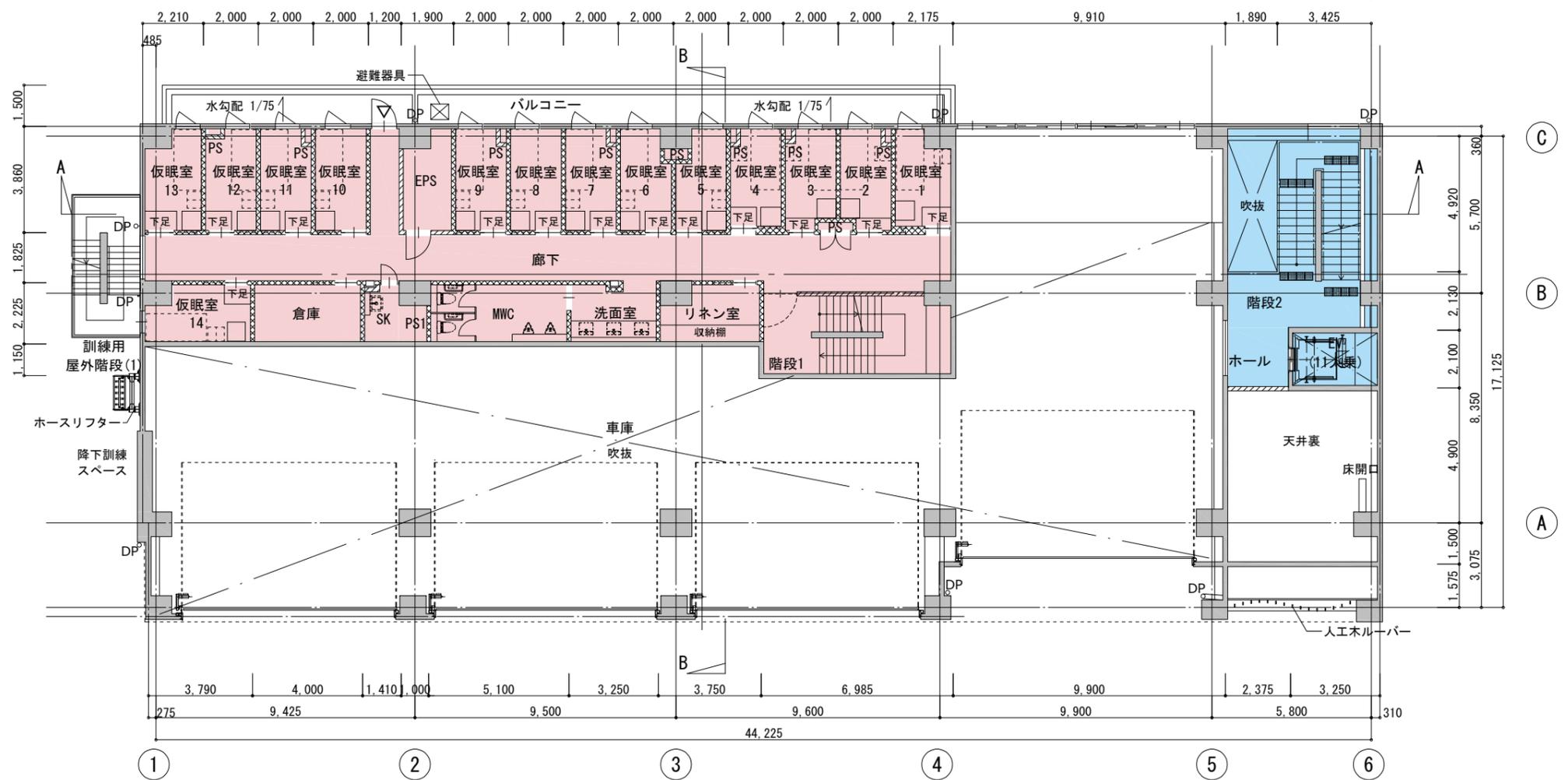
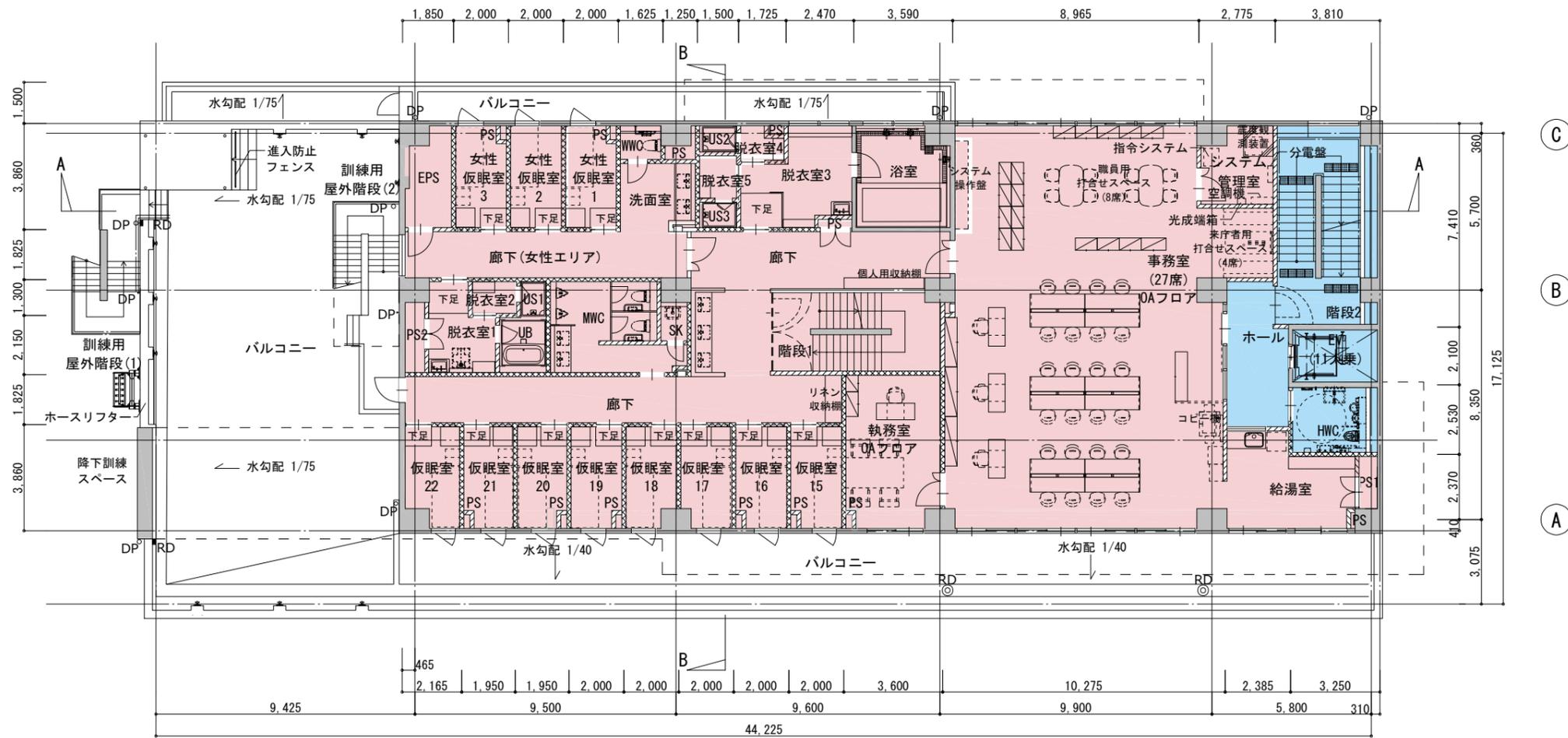


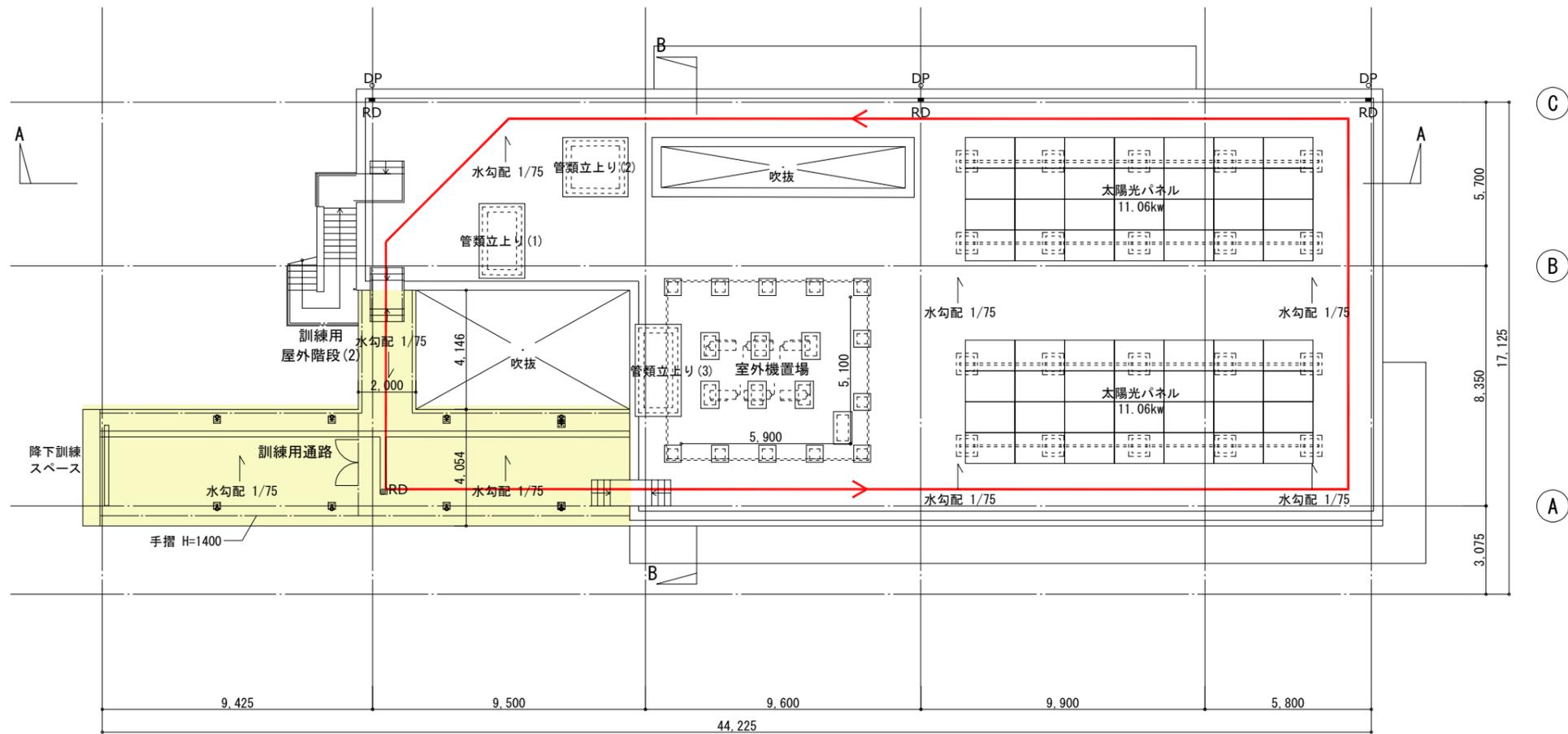
1階平面図
S=1:200



ピット平面図
S=1:200

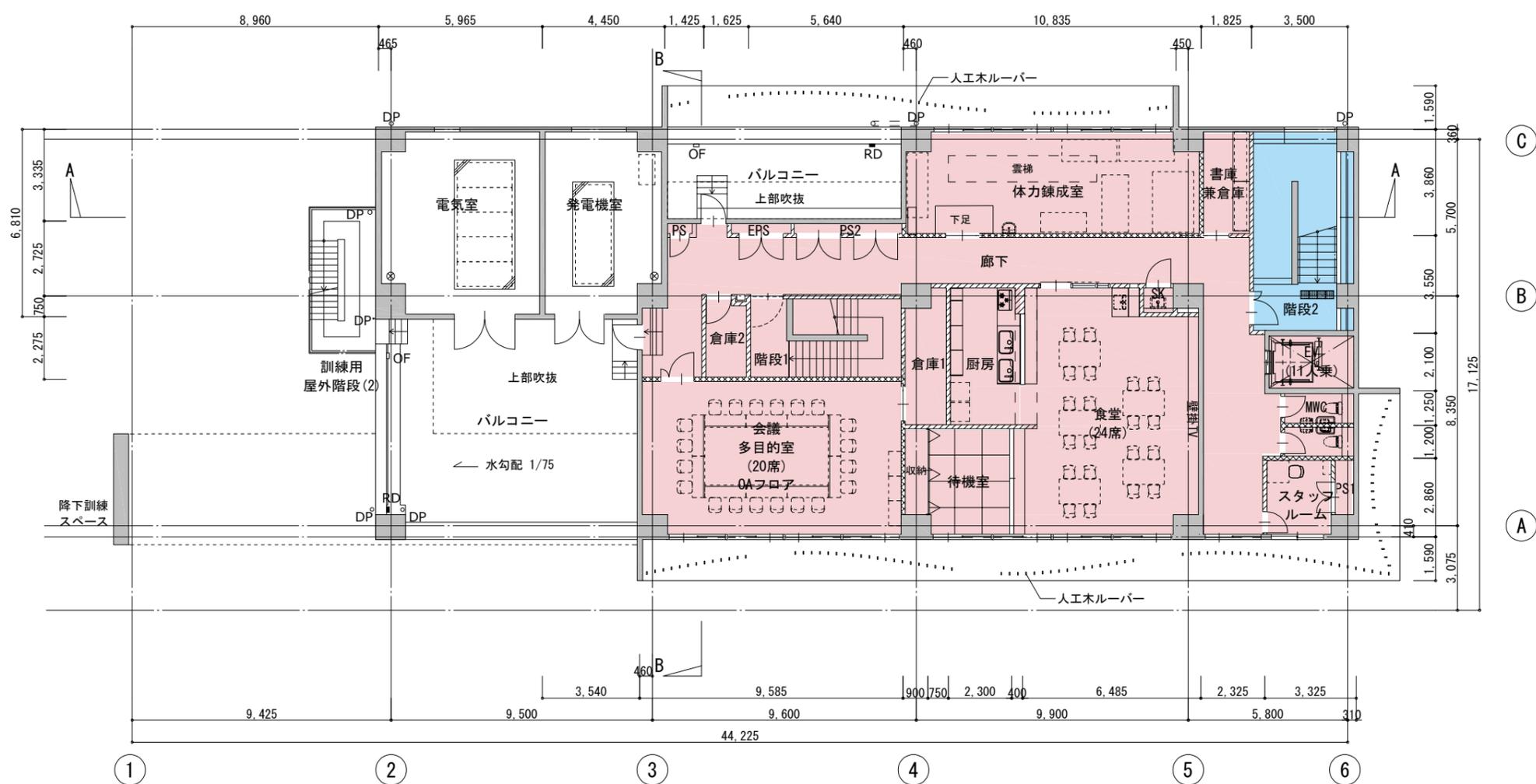
【凡例】
埋戻し範囲





R階平面図
S=1:200

【凡例】
 訓練用通路
➔ 屋上動線



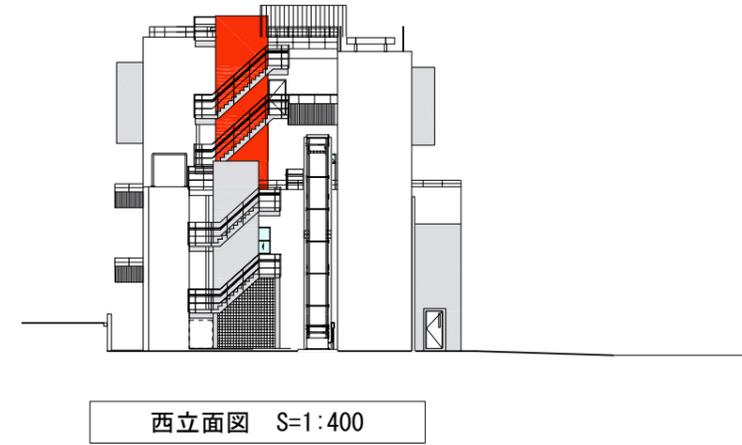
4階平面図
S=1:200



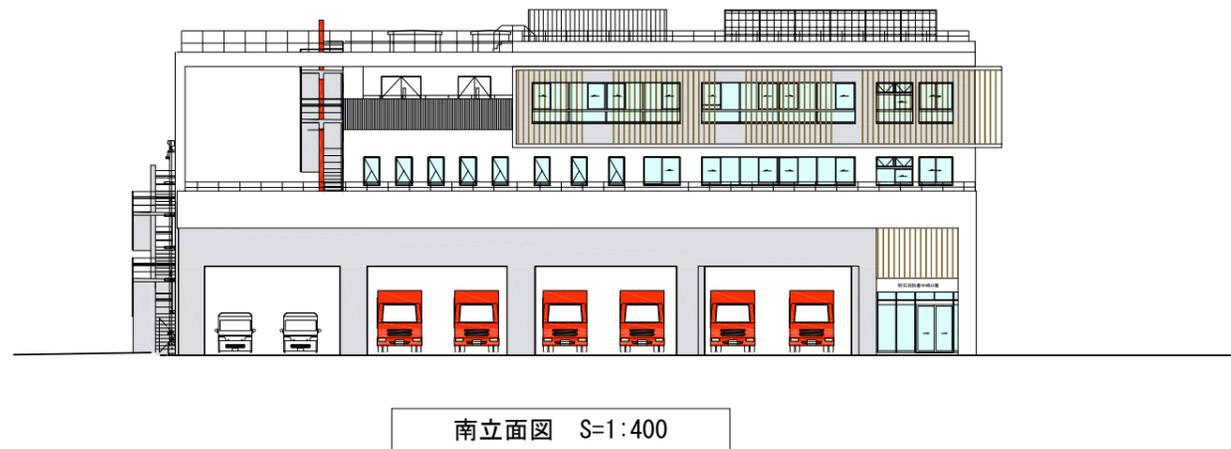
■立面計画



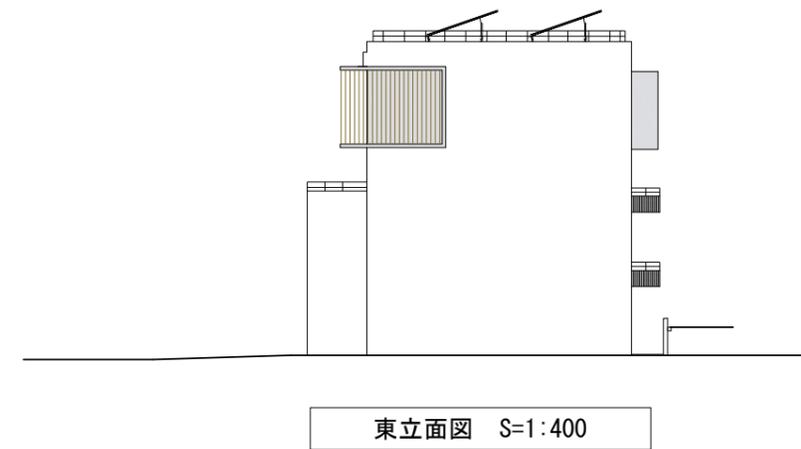
北立面図 S=1:400



西立面図 S=1:400

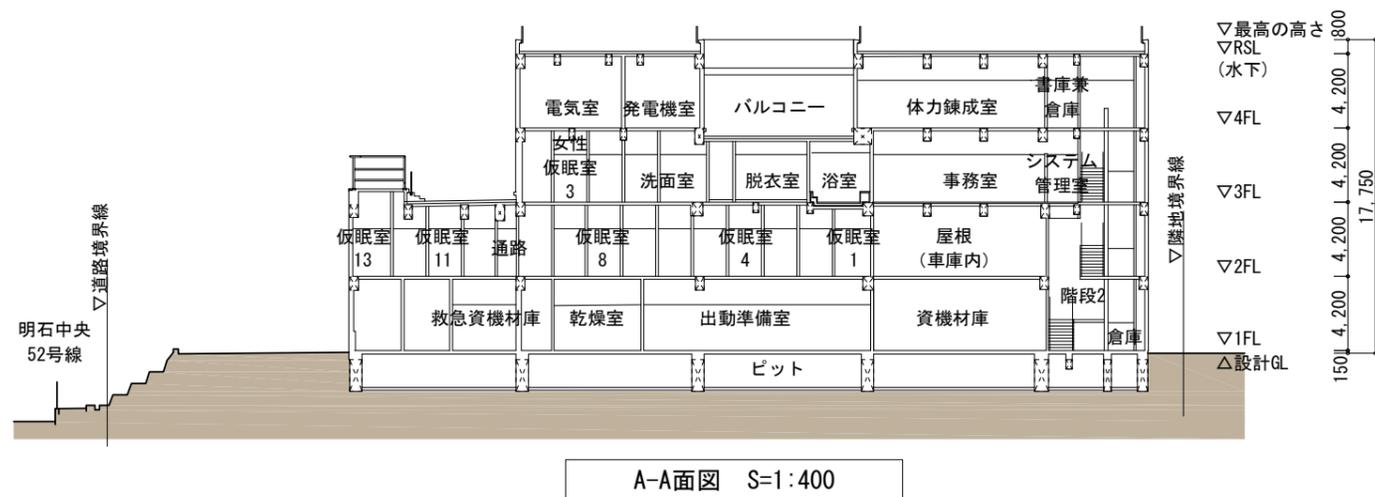


南立面図 S=1:400

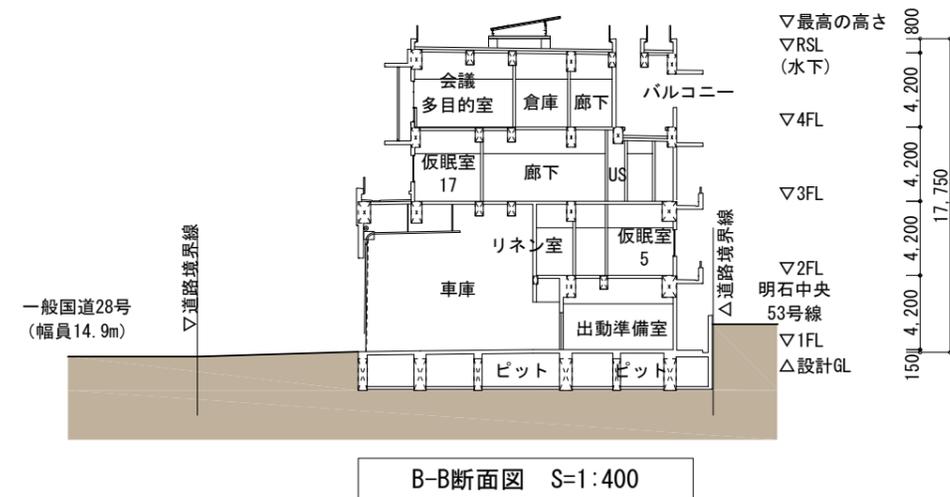


東立面図 S=1:400

■断面計画



A-A面図 S=1:400



B-B断面図 S=1:400